

## 論文の内容の要旨

論文題目 米国諸都市のコミュニティプランの計画実施戦略  
－ コンプリヘンシブプランの計画体系に着目して  
Implementation Strategies of Community Plans in U.S. Cities  
- Focusing on the Planning System of the Comprehensive Plans

氏 名 芝田 昌明

現在、米国のみならず日本においても積極的な住民参加によって総合計画が策定されている。総合計画は策定して終わりではなく、それをいかに継続的に活用することができるかが重要である。限られた財源の中で、計画から取り組むべき事業の優先度を定め、どのように実施していくのか、この計画実施の手法を明確にすることは米国に限らず日本においても重要な課題である。

米国では、コミュニティ・ネイバーフッドが持続可能な場の実現に適正な規模と捉え、総合計画(コンプリヘンシブプラン)に示された方針や政策、事業の実現手段として、市域を複数の地区(コミュニティ)に分割し、それぞれの地区でコンプリヘンシブプランを詳細化・具体化したコミュニティプランを策定し、計画に示された政策・取組・活動などが実施される「計画実施(Plan Implementation)」が進められている。

一方、現在の日本では総合計画や都市計画マスタープランの策定や実施プロセスにおいて、地区別計画、コミュニティ計画の策定から計画実施に関する明確な位置づけや制度設計が十分になされているとは言えない状況にあり、新たな計画体系の構築とその活用方法を具体化することが求められている。こうしたことから、本研究では、この計画実施の実態を明らかにするために、米国の先進自治体でのコミュニティプランの計画実施の取組を、「計画の体系」、「計画内容の具体化から予算化までの実施プログラム」、「主体の関わり」の3つの視点から分析・評価し、コミュニティプランが実施に至る構造を特定することを目的としている。具体的には、計画実施の起点となるコンプリヘンシブプランの構成や策定プロセス等が高く評価されているミズーリ州カンザスシティとカルフォルニア州サンディエ

ゴ、オハイオ州ヤングスタウンを対象として、文献収集、各都市の行政担当者、非営利団体職員、プランナー、活動家等の関係者を対象としたインタビュー、現地踏査による情報収集し、その成果を把握検討することで、目的の解明を行おうとしたものである。

第1章では、米国で取り組まれているコミュニティプランの実態を明らかにするための予備的な整理として、既往研究レビューを基に米国のコミュニティプランニングの形態とその展開を6つの形態に分類しそれぞれの取組を概観したうえで、米国で策定されているコミュニティプランの概要と、現在のコミュニティプランの策定状況を確認し、現在の全米各都市では、コミュニティプランの策定が一般的に取り組まれていることを示している。

第2章では、カンザスシティのコンプリヘンシブプラン(FOCUS)を詳細化、具体化したエリアプランに着目し、「計画の体系」、「計画内容の具体化から予算化までの実施プログラム」、「主体の関わり」の3つの視点から計画実施の実態を検証している。その結果、計画実施に必要な要素として、計画内容の予算化の仕組みの構築にあたり、NPOや行政組織による働きが効果的であったことなどを指摘している。

第3章では、ヤングスタウンのネイバーフッドプランに着目し、「計画の体系」、「計画内容の具体化から予算化までの実施プログラム」、「主体の関わり」の3つの視点から計画実施の実態を検証している。その結果、市と財団によって設立されたコミュニティデベロップメントコーポレーション(YNDC)が計画策定と計画実施の中心的な役割を担うことで、「計画の体系」、「計画内容の具体化から予算化までの実施プログラム」、「主体の関わり」の関係に連続性が生まれ、計画実施が進む構造を形成していたことなどを指摘している。

第4章では、サンディエゴのコミュニティプランに着目し、「計画の体系」、「計画内容の具体化から予算化までの実施プログラム」、「主体の関わり」の3つの視点から計画実施の実態を検証している。その結果、計画実施が進む構造の存在として、「計画の体系」と「計画内容の具体化から予算化までの実施プログラム」の充実が、コミュニティプランニンググループの活動を活性化させ、継続的な「主体としての関わり」を可能としていたこと、そして、そのような「主体としての関わり」の存在は、「計画の体系」や「計画内容の具体化から予算化までの実施プログラム」を実体化する役割を果たしていたこと、などを明らかにしている。

第5章では、以上の検討を踏まえ、コミュニティプランの計画実施が実現に至る構造を特定し、「計画の体系」、「計画内容の具体化から予算化までの実施プログラム」、「主体の関わり」の3つの視点はそれぞれが密接につながり、各々がコミュニティプランの計画実施を実現するための役割を担っており、それぞれの視点を個別に扱うのではなく一体的にとらえることが重要であることを指摘している。

本研究は、コミュニティプランの計画実施において、「計画の体系」、「計画内容の具体化から予算化までの実施プログラム」、「主体の関わり」の3つの視点から、計画実施実現に対する課題、必要となる要素、貢献する要素、効果的な要素、さらには計画実施が進む仕組みの構造を明らかにしており、今後のコミュニティプランの策定から計画実施に関する明確な位置づけや制度設計に対して多くの知見を提示している。